

第 36 号

発行：平成 29 年 1 月

松浦武四郎記念館友の会

会員数：151 名(平成 28 年 12 月末現在)

(家族会員=15 名、個人会員=136 名)

松浦武四郎記念館友の会



友の会だより

友の会事務局：松阪市小野江町 383

松浦武四郎記念館内

連絡先：電話 0598-56-6847

Fax 0598-56-7328

発行責任者：飯田 秀

新年明けましておめでとうございます。 役員 松浦寿久

新年明けましておめでとうございます。

従来より精力的に活動を行っている友の会の皆様には感服している次第であります。その結果が今の友の会を築き上げた礎だと信じている私です。その会のメンバーの一人として私も参加させて頂いて早や 8 か月が過ぎました。

この会が探検家松浦武四郎にまつわるルーツだけでなくそれに付随した郷土の名士、又は武四郎が係った人間関係を色々な角度からとらえ、こと細かく多くの人に紹介していく偉大な会だと知りビックリしている現状です。今では NHK テレビでも取り上げられ、北海道はもちろんのこと全国的に少しずつ浸透している現状です。昨年 28 年度の最後の散策は武四郎が 1886 年[明治 19 年]に大台ヶ原に登った際に大杉谷に入り参拝した大杉大明神を友の会 27 人で訪ねた活動でした。

この様に毎年新しい散策地を求め活気ある友の会に全員で育て上げ、来年に迫った武四郎生誕二百年・友の会発足十年を迎えたいと思っています。このことは全員が同じ思いだと信じて疑いません。ただし私はまだ仕事を持った身で全面的に協力できないことを大変心苦しく思っています。

平成 29 年度は有意義な年になる様に友の会全員が知恵を出し合って頑張っていきましょう。

最後になりましたが会員の皆様には無理をせず、ゆとりをもって健康には十分気をつけて楽しい年にして頂きたいと思ひます。



謹賀新年

今年も宜しく

お願い致します。

役員一同

平成 29 年元旦

今年の武四郎まつりは、2 月 26 日に開催されます！！

概要は、挟み込みのチラシをご覧ください。多くの方の、来館をお願いします。

「谷川士清の会」との交流会第二回目実施！！

友の会だより 35 号で報告しましたように「谷川士清の会」との交流会を士清の旧宅や谷川神社周辺で、9 月 24 日(土)に実施しましたが、今回は 11 月 6 日に「谷川士清の会」の方々を記念館にお迎えし、第二回目の交流会を開催しました。

「谷川士清の会」から 8 名、友の会から 14 名、及び松浦武四郎記念館から中野館長が参加し、総勢 23 名でした。

当日は記念館で特別講座「なんじゃこりゃ？」



谷川士清の会の方々と(和歌の碑を囲んで)

すごいぞ！蝦夷屏風」の演題で北海道博物館の三浦泰之学芸主査のお話をお聞きした後に交流会を行いました

お昼のお弁当をいただき、相互に会の紹介をした後、中野館長から武四郎の足跡や、凄いところを紹介して頂き、北海道新聞社から贈っていただいたエゾヤマザクラを案内し、平成26年7月に建立した武四郎が詠んだ和歌の碑を囲んで記念写真を撮り散会となりました。

第二回目ということもあり和気藹藹のなか、谷川土清と武四郎について深く知ると共に相互の会の活動についても理解が深まりました。



エゾヤマザクラの説明をする
飯田会長と参加者

武四郎の足跡を訪ねて大杉谷へ

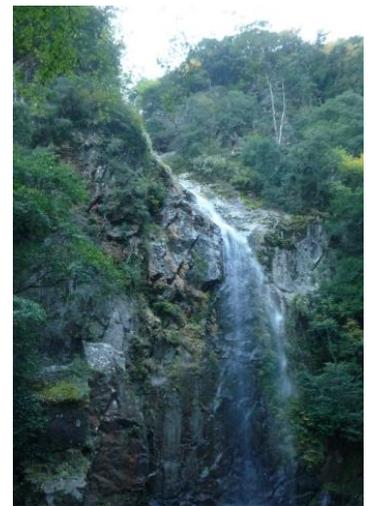
武四郎は明治19年5月に大台ヶ原登山をした帰りに大杉谷を訪れています。

今回はそのゆかりの地を確認すると共に、ダム湖になった湖を遊覧船で紅葉を愛でる旅でした。前日まで雨模様で心配しましたが、11月12日(土)は絶好の紅葉日和で、27名の参加でした。

朝8時半に記念館を出発し、道の駅(奥伊勢大台)でトイレ休憩、宮川ダム湖を望郷丸で遊覧、祈りの道ふるさと公園でお弁当昼食、浅間神社・大杉神社を拝観、六十尋滝、奥佐田宮跡を案内して頂きました。

雨の後で空気も澄んでおり、紅葉も丁度良い時期で満足な旅となりました。

望郷丸の福山船長さん、判り易く案内していただいた村田稔区長さんと節子さんご夫妻には大変お世話になりました。また、レンタカーを運転していただいた会員の西川実さん・・・長距離を安全運転に徹していただき有難うございました。関係の皆様には厚くお礼申し上げます。参加された堀久子さんに感想文をいただきました。



六十尋滝

「松浦武四郎の足跡を訪ねて大杉谷へ」に参加して 堀 久子

11月12日(土)、この時期にしては珍しく一日中風の無い暖かい晴天に恵まれ、私は武四郎友の会の皆さんと一緒に大杉谷へ松浦武四郎の足跡を訪ねることができ感動の連続でした。

まずは、宮川ダム遊覧船(望郷丸)に乗って紅葉した山々の素晴らしい景色や青い空に心躍らせながら、大杉区の村田区長さんの奥さんから武四郎が大台ヶ原からの下山時に大杉谷で泊まったと言う宿を含め91軒の家々がダム湖底に沈んでいることや、山越えに通ったであろうルートなどの説明を聞かせてもらいました。私はどんな旅だったのかなあと、当時の武四郎さんに思いを馳せました。



大杉神社の前で集合写真

船を下りてからは、村田区長ご夫妻の案内で武四郎が参拝したであろう浅間神社の青銅製の座像や樹齢 1300 年の大杉大明神にもおごそかな気持ちで合掌することができました。日頃より神社仏閣に関心の強い私にとって、村田区長さんのお話は心に残るものでした。

さらに、村田区長さんに大杉谷登り口第三発電所付近まで案内していただき、武四郎が参拝した奥定宮跡への山越えの話やいかに武四郎が健脚ですごい人であったかというお話を聞かせてもらいました。私は村田区長さんの大杉谷を愛する強い思いを感じると共に、あらためて武四郎さんのすごさ、偉大さを知りました。

長い時を経て武四郎さんのご縁で初めての方々とも大杉谷の素晴らしさや武四郎の偉大さに共感でき、とても充実した楽しい一日でした。

素晴らしい企画・準備と村田ご夫妻、そして長時間運転をして頂いた方に感謝・感謝です。ありがとうございました。

誕生地保存会の研修会実施

平成 28 年度には研修会が 2 回開催されました。

1. 津市一志町、美杉町界隈を巡る

10 月 6 日(木)に研修会が開催され、28 名の方が参加されました。今回は津市一志町と美杉町歴史と文化に触れ展示や歴史の語り部としての技を学ぶことを目的に開催されました。三重中央農協の郷土資料館では、高野製糸工場のミニチュア版や、生活用具、農林業の道具について展示されていました。



美杉ふるさと資料館で説明

津市美杉町上多気では、ふるさと資料館の見学、雪姫亭で昼食、北畠神社参拝、庭園散策・記念撮影、津市美杉町奥津では、伊勢本街道の内「のれん街道」の散策、津市美杉町川上では、川上山若宮八幡宮参拝を行いました。

いずれも現地の方々詳しく説明を受け、保存会会員として説明の仕方に大変参考になりました。

また、事務局をして頂いている中野館長が十分な資料を集め、ポイントを判り易く冊子にいただき、後々の貴重な資料となりました。

2. 松浦武四郎「誕生地」界隈を巡る

11 月 26 日(土)に会員が誕生地周辺の案内が出来ようになることを目的とした研修会が開催され地元の方々始め 26 名が参加しました。

まず、真覚寺において武四郎の生い立ちや足跡を飯田秀副会長からお話をお聞きした後、真覚寺、

金田一桜、伊勢街道、小野江常夜燈、蝦夷ヤマザクラ、武四郎の歌碑などを巡り、それぞれのポイントについて説明を受けました。



蝦夷ヤマザクラの説明



高野製糸工場のミニチュア



北畠神社の正殿前で記念撮影



小野江常夜燈の説明

【記念館よりのお知らせ】

☆武四郎講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります

2月12日(日)10時～11時30分

友の会主催

テーマ：文化財の保存と修理

講師：坂田墨珠堂

3月12日(日)10時～11時30分

テーマ：明治18年から20年の武四郎の足跡 講師：佐藤貞夫先生

4月9日(日)10時～11時

テーマ：武四郎に関する話

講師：山本命（松浦武四郎記念館 主任学芸員）

☆企画展示のご案内

◆武四郎が集めたもの

～ 1月22日(日)まで

武四郎は様々なモノや情報を収集した人物でもあり、外交、政治、文化、古物など、武四郎が集めたモノや情報を紹介します。

◆武四郎の生涯

1月24日(火)～ 3月26日(日)まで

幕末から明治維新を生きた武四郎の波乱万丈に満ちた生涯を知られざる資料から紹介します。

◆武四郎と文人たち

3月28日(火)～ 5月28日(日)まで

武四郎は詩歌、書画の世界にも通じ、幕末から明治維新に活躍した文人たちと交流していることから、文人としての武四郎の姿と、武四郎と交友のあった文人の作品を紹介します。

【友の会よりのお知らせ】

総会の予定

5月14日(日)の武四郎講座の後(11時頃)から平成29年度総会を開催する予定です。

友の会の活動を認められました！！

松阪市市民活動センターが、地域で頑張る市民活動団体を多くの人に知ってもらうとの趣旨で行っている「あっぱれ大賞！」に応募し、友の会が「語り継ぐ武四郎賞」を受賞しました。武四郎の業績を広める地道な活動が認められたものと思います。

29年度のバス研修旅行 予告

研修先・内容・実施日は未定ですが、29年度になってお知らせ・募集します。ご期待ください。

いつきのみや梅まつりの案内

斎宮歴史博物館が主催している「いつきのみや梅まつり」は、29年2月25日(土)に開催され、友の会として武四郎の功績や友の会活動の展示をさせていただく予定です。

最近では武四郎が報道関係者の間でも注目され、テレビ放映が続きました！！

10月から11月にかけて、NHK教育テレビの「知恵泉」、東海テレビの「はじめまして！」のコーナー、中京テレビの「PS 純金(ゴールド)」など多くのテレビ番組で武四郎を紹介する番組が放映され、地元の小学生や住民が取材を受けました！！

平成30年には武四郎生誕200年を迎えること、当時蝦夷地だった地名を武四郎が「北加伊道」と提案し、明治政府が「北海道」と命名してから150年経つことを記念し、北海道としての事業が始まっています。地元としても更なる活動が期待されます。